

平成29年度 第16回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 29 年 10 月 4 日 (水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：齋藤 勝和先生 (広島大学大学院理学研究科
数理分子生命理学専攻・研究員)

演題：シアノバクテリアの翻訳制御機構に関する研究

要旨：植物細胞内の葉緑体リボソームには、少なくとも 6 つの葉緑体特異的リボソームタンパク質(PSRP)が存在する。中でも PSRP-1 類似タンパク質は多くのバクテリアに存在し、大腸菌などではリボソーム二量体形成に関わっている。そこで葉緑体の PSRP-1 に機能が近いシアノバクテリアの PSRP-1 類似タンパク質の機能を解析したところ、乾燥や細胞密度などのストレス条件下で PSRP-1 が機能し、リボソーム二量体形成を行い翻訳制御すると考えられた。本講演では、これらに関する研究について紹介する。

また、バイオ燃料生産に関する研究などについても行ってきたので、時間の許す範囲で紹介したい。

数理分子生命理学セミナー世話人 坂本 尚昭 (内線 7447)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です